

東北地方太平洋沖地震を踏まえた 浜岡原子力発電所の対応について(続報)

2011年3月22日

当社は現在、東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日発生)で被災した東京電力(株)福島第一原子力発電所の状況を踏まえ、津波に対する裕度向上を図るための対策を進めています。

(2011年3月15日お知らせ済み)

このたび、追加対策として、新たな対策を策定しましたので、津波に対する一連の対策について、あらためてお知らせします。

- 1 津波による発電所構内の浸水防止対策 (お知らせ済み)
津波に対する安全性の裕度向上を目的に発電所敷地海側(一部側面)に**防波壁を設置**します。
- 2 発電所構内に津波の浸入を想定した対策 (お知らせ済み)
 - (1) 海水系ポンプエリアへの防水壁設置 (お知らせ済み)
屋外に設置されている海水系ポンプエリアへの津波の浸入を防止するための**防水壁を設置**します。
 - (2) 海水系ポンプ電動機の予備品の確保 (お知らせ済み)
津波により浸水した場合に備え、**電動機の予備品を確保**します。
 - (3) 防水構造の扉の健全性確認、信頼性強化 (お知らせ済み)
原子炉建屋内に設置されたディーゼル発電機等の浸水を防止するため、**防水構造扉の健全性を確認**する他、今後、信頼性を強化するための対応を検討します。
- 3 緊急事態に備えた対策 (お知らせ済み)
 - (1) 発電機車および可搬型発電機の確保、予備蓄電池の確保 (お知らせ済み)
外部電源およびディーゼル発電機が使用できない状況に備え、原子炉を冷却する系統(蓄電池使用)の使用時間を延長させるため、**発電機車や可搬型発電機による充電手段を確保**するとともに、予備の蓄電池を確保します。
 - (2) 緊急時用の電源装置の設置 (今回新たにお知らせする内容)
非常用炉心冷却系等の必要な機器に電源を供給するための**非常用電源装置を設置**します。
 - (3) 非常用炉心冷却系等の予備品の確保 (今回新たにお知らせする内容)
原子炉等の冷却に必要な機器等の故障に備え、**必要な予備品を確保**するとともに、海水系ポンプについては迅速に実施するための**仮設水中ポンプを確保**します。
 - (4) 緊急時用資機材倉庫の設置 (今回新たにお知らせする内容)
津波の影響を受けない発電所敷地内の高台に非常用炉心冷却系等の予備品を保管する**専用の倉庫を設置**します。
 - (5) 緊急時対策訓練の実施・強化 (今回新たにお知らせする内容)
今回の対策が実施されるまでの期間および実施された後の設備状況に応じた**緊急時対策訓練を実施**し、対応能力の強化を図ります。

添付資料 東北地方太平洋沖地震を踏まえた浜岡原子力発電所の対応事項について(続報)

以上

東北地方太平洋沖地震を踏まえた浜岡原子力発電所の対応事項について(続報)

津波に対する裕度向上対策 (下線部は2011年3月15日お知らせ済みを示します。)

東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故から得られた教訓を踏まえ、**津波に対する裕度向上**や**緊急事態に備えた対策**を積極的に実施していきます。

これまでの状況から以下の対策について早期に実施するとともに、今後も情報収集に努め適切な対応をすみやかに実施してまいります。

1 津波による発電所構内の浸水防止対策

津波に対する安全性の裕度向上を目的に発電所敷地海側(一部側面)に**防波壁を設置**します。

【目的】

津波に対する裕度向上(発電所構内への津波の浸入防止)を図ります。

【実施内容】

発電所海側の砂丘背面および側面の一部に高さT.P.+12m以上のコンクリート製の防波壁を設置します。

2 発電所構内に津波の浸入を想定した対策

(1) 海水系ポンプエリアへの防水壁設置

屋外に設置されている海水系ポンプエリアへの津波の浸入を防止するための防水壁を設置します。

【目的】

屋外に設置された海水系ポンプの水没を防止し、原子炉等の冷却に必要な海水を確保します。

【実施内容】

高さ約1.5m、厚さ約8cmの金属製の板で周囲を囲みます。

(2) 海水系ポンプ電動機の予備品の確保

津波により浸水した場合に備え、**電動機の予備品を確保**します。

【目的】

海水系ポンプ電動機の被水による動作不能時間を短縮し、原子炉等の冷却に必要な海水を確保します。

【実施内容】

海水系ポンプ電動機の予備品を確保します。3、4号機用は確保しました。5号機用は手配中です。

(3) 防水構造の扉の健全性確認、信頼性強化

原子炉建屋内に設置されたディーゼル発電機等の浸水を防止するため、**防水構造扉の健全性を確認**する他、今後、信頼性を強化するための対応を検討します。

【目的】

原子炉建屋内にあるディーゼル発電機等の水没を防止し、原子炉等の冷却に必要な電源や機器を確保します。

【実施内容】

防水構造の扉の健全性について確認しました。今後、信頼性強化に関する対応を検討します。

3 緊急事態に備えた対策

(1) 発電機車および可搬型発電機の確保、予備蓄電池の確保

外部電源およびディーゼル発電機が使用できない状況に備え、原子炉を冷却する系統(蓄電池使用)の使用時間を延長させるため、**発電機車や可搬型発電機による充電手段を確保**するとともに、**予備の蓄電池を確保**します。

【目的】

外部電源およびディーゼル発電機が使用できない状況に備え、原子炉を冷却する系統(蓄電池使用)の使用時間を延長します。

【実施内容】

蓄電池用充電器の電源として、発電機車を2台および可搬型発電機を3台確保しました。今後、予備の蓄電池を確保します。



(2) 緊急時用の電源装置の設置

非常用炉心冷却系等の必要な機器に電源を供給するための**非常用電源装置を設置**します。

【目的】

外部電源およびディーゼル発電機が使用できない状況に備え、非常用炉心冷却系等の設備にすみやかに電源を供給します。

【実施内容】

非常用のディーゼル発電機を津波の影響がない発電所敷地内高台に設置します。



(3) 非常用炉心冷却系等の予備品の確保

原子炉等の冷却に必要な機器等の故障に備え、**必要な予備品を確保**するとともに、海水系ポンプについては迅速に実施するための**仮設水中ポンプを確保**します。

【目的】

原子炉等を冷却するために必要な機器の故障に備え、必要な予備品を確保することにより、原子炉等の冷却の長期間の喪失を防止します。

【実施内容】

非常用炉心冷却系、機器の冷却系、海水系等の機器について、必要な予備品を確保します。また、屋外に設置されている海水系ポンプについては、津波後の接近が困難なことを想定し、代替用の水中ポンプを予備品として確保します。

(4) 緊急時用資機材倉庫の設置

津波の影響を受けない発電所敷地内の高台に非常用炉心冷却系等の予備品を保管する**専用の倉庫を設置**します。

【目的】

上記の予備品を緊急時にすみやかに使用できるよう専用の倉庫に保管します。

【実施内容】

津波の影響を受けない発電所敷地内の高台に専用の倉庫を設置します。

(5) 緊急時対策訓練の実施・強化

今回の対策が実施されるまでの期間および実施された後の設備状況に応じた**緊急時対策訓練を実施**し、対応能力の強化を図ります。

【目的】

対策の実施状況に応じた緊急時対策訓練を実施し、対応能力の一層の向上を図ります。

【実施内容】

津波による被害(電源喪失、海水系ポンプの機能喪失など)を想定し、以下に着目した現場または図上訓練を実施します。また、訓練をとおして確認された改善事項についてもすみやかに対応してまいります。

- ◆ 電源の早期復旧訓練(発電機車等によるつなぎ込み訓練、外部電源の引き込み計画の立案 など)
- ◆ 予備品への取替を含む故障した機器の復旧訓練
- ◆ 原子炉および使用済燃料プールへの代替注水、格納容器ベント、海水注水等の緊急時操作訓練